

戸建 ZEH「グリーンファーストゼロ」発売から 10年で累積 8万棟を達成

2023年度に提供した新築住宅等の使用時のCO₂排出量（スコープ3カテゴリ11）は当社グループ全体で2013年度比38%削減

積水ハウス株式会社は、2013年にZEH基準をクリアする「グリーンファーストゼロ」を発売してからの累積販売棟数が83,541棟となり、2023年度の戸建ZEH比率は95%^{*1}とこれまでで最も高い水準となりました。戸建住宅に加え賃貸住宅「シャームゾン」や分譲マンション「グランドメゾン」におけるZEH-M、非住宅建築物におけるZEBなど、多面的な取り組みにより、2023年度における海外事業も含めた積水ハウスグループ全体^{*2}が提供した新築住宅等の使用時のCO₂排出量（スコープ3カテゴリ11）は2013年度比で38%削減となりました。

今後も積水ハウスグループ全体が提供する新築住宅等の使用時のCO₂排出量（スコープ3カテゴリ11）を2030年において2013年度比55%削減、2050年度のカーボンニュートラルの実現に向けて、着実に取り組みを進めてまいります。



- ①2023年度の戸建ZEH比率95%（累積棟数83,541棟）、賃貸住宅ZEH比率76%^{*3}で過去最高、2050年カーボンニュートラル実現に向けた「住」を通じた多様な取り組みが着実に進捗。
- ②当社グループが提供した新築住宅等の使用時のCO₂排出量は830万t-CO₂、2013年度比で38%削減。

①個別取り組みの進捗

事業領域	2023年度の取り組み実績	概要
戸建住宅	ZEH比率95%	累積棟数は83,541棟。life knit designやレジデンスなどで付加価値を高め、一層の普及に努めます。
賃貸住宅	シャームゾンZEH比率76%	昨年度実績65%から順調にZEH化が進捗、累積受注戸数は42,562戸。今後はEV充電設備の採用も推進。
分譲マンション	販売する「グランドメゾン」の100%がZEH-M Oriented以上	2023年度以降に販売する物件はすべてZEH水準の省エネ性能をクリアする。
非住宅建築物	年間130棟のZEBを受注。ZEB比率33% ^{*4}	事務所建築に対して「グリーンファーストオフィス」を重点的に推進。
リフォーム	「環境型リフォーム」提案により住まいの脱炭素化をサポート	太陽光発電や蓄電池、断熱性向上、高効率空調・給湯設備へ交換を推進

②2050年カーボンニュートラル実現に向けて、当社グループが提供した新築住宅等の使用時のCO₂排出量（スコープ3カテゴリ11）削減を推進

当社グループはパリ協定の目指す削減目標^{※5}に整合させるために、昨年、温室効果ガスの削減目標を更新し、SBTイニシアチブから認証を取得しました。更新後の削減目標「2030年までに製品使用時のCO₂排出量（スコープ3カテゴリ11）を2013年度比55%削減する」に対して38%削減まで進捗しました。削減目標55%に対して38%削減であり、進捗率は69%と順調に推移しています。

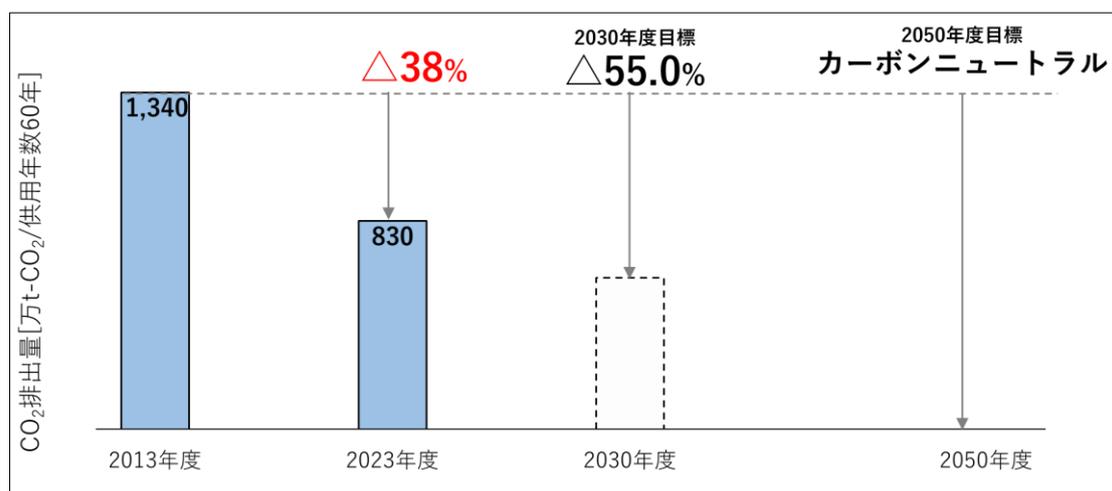


図 1.2050年カーボンニュートラル実現に向けたスコープ3カテゴリ11削減目標と進捗

- ※1 2023年4月から2024年3月、北海道以外の地域における Nearly ZEH 以上（多雪地は ZEH Oriented 含む）の比率
- ※2 CO₂排出量集計範囲：積水ハウス（単体）、鴻池組、積水ハウスノイエ、積水ハウス建設、積水ハウス不動産、SEKISUI HOUSE US HOLDINGS,LLC 傘下の住宅販売子会社、SEKISUI HOUSE AUSTRALIA HOLDINGS PTY LIMITED
- ※3 ZEH Ready 以上の比率（住戸ベース）
- ※4 2023年4月から2024年3月、ZEB Ready 以上
- ※5 目標水準はスコープ1、2が1.5℃、スコープ3がWB2℃